

太鼓と口説き、広がる笑顔 地域でつくる鹿野地区盆踊り

田 んぼには稲穂が実り始め、秋の訪れを感じるようになってきましたね。今月号の「えーる!」では、8月15日に開催された「鹿野地区盆踊り」についてご紹介します。

会場のコアラプラザかのに到着すると、入り口前の駐車場に、ずらりとテントが並び、地域の皆さんが飲食ブースを開いていました。せっかくの機会でしたから現地夕食をとることにしました。

日が落ち、8月ながら心地よい涼しさを感じる中で食事していると、鹿野さん保存会の和太鼓に合わせて盆踊りの口説きが始まります。にぎやかな音色に誘われるように、ひとり、またひとりと、やぐらを中心に踊りに加わる人たちが現れ、自然と踊りの輪ができていきます。

空がすっかり暗くなった頃、会場につるされた提灯の明かりが輝き、踊りが一度休憩になったと思うと、今度は耳なじみのある鹿野

音頭のメロディが流れはじめ、再び踊りの輪ができていきます。

自分も小学生の頃に運動会で踊った思い出があり、周囲の人に背中を押されて踊りの輪に加わりました。久しぶりに踊ってみると、体が振り付けをすぐに思い出してくれて、楽しく踊ることができました。

じっとしていると涼しい夜でしたが、踊ると汗びっしょりになりました。それでも、踊り終わると、不思議とさわやかな気分になることができましたよ。

盆踊りの輪に加わる皆さんも、皆、笑顔で時間を過

ごされていました。

やぐら設営などの準備はまだ日が高く照りつける炎天下で、地域の皆さんが力を尽くしてくださったものだったのがいきました。

決して目立たないながらも、そのご尽力や、鹿野さん保存会のすてきな太鼓や口説きがあつてからこそとても楽しい、にぎやかな時間になったのだと思います。

たくさんの方が関わり、支えてくれている鹿野地区盆踊り。関係者の皆さんに感謝の気持ちを込めて、心からエールを送りたいと思います!



●会場では、飲食ブースと座るためのテーブルが準備されていました。



会場風景

●盆踊り前に、響き始める和太鼓



盆踊りの源流は、平安時代の念仏踊りにあると言われています。念仏踊りは、時代の流れとともに各地で独特なものを作られはじめ、多くの人に踊り継がれてきたと言われています。

自分が子どもの頃には、仮装盆踊りとして実施されていたように記憶しています。盆踊りが、時代に沿った形になりながら、これからも続いてほしいと思います。

○盆踊り後の楽しみ抽選会

